

「なるほど、その通り、若くして仕事をなさるなら」

梅「何の理由で辞職されたのですか、梅田君は、さういふ理由で辞職されたのですか」

平「各々の理由が違います」

梅「本業以外の副業の報酬を、お金の面で、さういふ理由で辞職されたのですか」

梅「梅田君は、梅田君の理由で、お金の面で、さういふ理由で辞職されたのですか」

梅「梅田君は、梅田君の理由で、お金の面で、さういふ理由で辞職されたのですか」

梅「梅田君は、梅田君の理由で、お金の面で、さういふ理由で辞職されたのですか」

梅「梅田君は、梅田君の理由で、お金の面で、さういふ理由で辞職されたのですか」

財団法人協同會大阪支所

松「そんな事はない、その書式でも受付ける世間に行き、會社の都合とあれば、お前達の爲めにならぬからしたのだ、辞職せねば、只やめて貰ひたい許りだ」

新「その方法は」

松「此方からやめる」

新「私は解職の必要はない」

松「只お前等の將來の口のことを心配したのだ」

梅「私も店の都合によりと直して出しましたが、受付けて呉れません、てした、怠けたとか云ふけれど、以前に身體の悪いときに休んだのみで、此の一年は、つめて働きました、それで怠けたと云ふとどの點が怠けたか、明かにして貰ひたい」

平「怠け者と断定する根拠を示して下さい、誰の報告によつて決定したのか、明らかにして欲しい」

松「會社が左様認めただから仕方がない」